



講師：水野直樹さん
(京都大学名誉教授、立命館大学
客員教授)

「戦前の美術作品に描かれた 在日朝鮮人の生活」

5月12日(土) 14時～16時30分

参加費：1000円(定員80人)

会場：高麗博物館

(要予約 ☎03-5272-3510)

(e-mail:kh@kouraihakubutsukan.org)

【講師プロフィール】

京都市生れ。京都大学人文科学研究所に勤務し、2016年
定年退職。朝鮮近代史、在日朝鮮人史を研究。

著書に、『創氏改名』(岩波新書)、『在日朝鮮人 歴史と現在』
(共著、岩波新書)など。

高麗博物館連続在日講座

今回の「在日講座」では、日本社会の中に生きる「在日」の人びとの多様な
生きざまをつぶさに見て来られた専門家のお話を伺います。

政治に翻弄され、異国の中で生きてきた「在日」の人生はどのようなもので
あったのか。今を生きる私たちはそこから何を学ばなければならないのか。
多角的な視点からの興味深いお話をご期待ください。

「在日朝鮮人とハンセン病」

7月7日(土) 14時～16時30分

参加費：1000円(定員80人)

会場：高麗博物館

(要予約 ☎03-5272-3510)

(e-mail:kh@kouraihakubutsukan.org)

【講師プロフィール】

国立ハンセン病資料館で担当した主な展覧会に「こころのつくろい
—隔離の中での創作活動—展」(2007年)、「この人たちに光を—
写真家趙根在が伝えた入所者の姿—展」(2014年)などがあり、
在日朝鮮人ハンセン病回復者の歴史、ハンセン病患者・回復者によ
る文化・芸術活動を主な研究テーマとして活動。



講師：金貴粉さん
(国立ハンセン病資料館学芸部
社会啓発課 主任学芸員)

◀ 次回の企画展のご案内 ▶

2018. 7.4～

『関東大震災95年 描かれた朝鮮人虐殺と社会的弱者』
— 記憶・記録・報道 (仮称) —